

平成29年度 第3回吉川区地域協議会次第

日時：平成29年5月13日（土）
午後1時00分から
場所：吉川コミュニティプラザ 大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報告事項

(1) 会長報告

(2) 委員報告

(3) 事務局報告

4 協議事項

(1) 地域活動支援事業提案団体によるプレゼンテーションについて

(2) その他

5 総合事務所からの諸連絡について

6 その他

7 閉 会

区名	事業番号	受付日	事業の名称	団体等の名称	補助に該当している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	質問事項	質問への回答
						事業費	補助希望額			
吉川区	1	4月3日	吉川タイムズ創刊5周年記念読者交流会事業	吉川タイムズ	-	155	130	地域の発展にとって、情報発信、PR活動は必須事項だが、人材、ノウハウを持たず、苦勞している現実がある。昨今、ソーシャルメディア(ブログ・フェイスブック・ツイッター)の重要性が高まっている。そこで、その果たす役割や効果を大学の専門家を招いて検証するため、読者交流会を開催する。また、吉川タイムズの設立の意味を知ってもらう。さらに、地域起しのリーダーを招き、活動と情報発信の実際を学ぶ。これにより、吉川区の住民に、地域振興とソーシャルメディアに関心を持ってもらう。	①現在、情報発信手段は、何を、いくつされていますか。 ②吉川区住民に、どれだけこの事業が認知されていると思いますか。不足しているものは何ですか。 ③補助希望額が区の配分額を大きく超えている現状から、補助金希望額が減額された場合に事業として実施できるのかどうかお聞きしたい。 ・参加費のアップ ・自己資金での対応 など	①ブログ(吉川タイムズ)、フェイスブック(吉川タイムズ)、ツイッター(吉川タイムズ)、ユーチューブ:Ustream(チャンネル吉川)、ユーチューブ(吉川タイムズ)となります。総称してソーシャルメディアと言います。文字、動画、生中継という伝達手段があり、今後、活字(新聞)を加える予定です。 ②ブログは訪問者の合計(95,781人)、PV(ページビュー※事務局で加算)合計(約22万)です。吉川区のリーダー的な立場におられる方には浸透しています。吉川区民のインターネット接続環境が不明なので、何割の方がどの程度読んだり、見たりしているのか分かりません。スマホの利用者も少なくありません。グーグルやヤフーで吉川関連のキーワードを検索するとTOPページに吉川タイムズが出て来ます。吉川のプロモーションへの貢献度はかなりのレベルにあると考えています。 ③吉川タイムズは非営利で現状無収入です。補助金減額は困りますが、自主財源にて実施します。但し、今回の応募状況を見ると、採択方針の中に、不採択の道すじもキチンと入れた方が良さそうです。
	2	4月4日	梶地内雨水排水路整備事業	梶、中旭町内会	-	283	270	水田耕地整備により既存水路から除外され、集落や周辺地の道路雨水排水路となった箇所、町内会住民の手により、しゅんせつや整備してきたが、しゅんせつ堆積物が積み上がり、又、高齢化のため、重機によるしゅんせつや堆積物の廃棄を行うもの。合わせて、町内会住民により、対象地域の草刈り、ごみ分別及び廃棄を行い、集落環境の保全、向上を図る。	①補助希望額が区の配分額を大きく超えている現状から、補助金希望額が減額された場合に事業として実施できるのかどうかお聞きしたい。 ・参加費のアップ ・自己資金での対応 など ②どこの集落でも、環境保全事業として、用・排水路の草刈りや江さらい等実施している。梶集落においては、本施設を定期的に管理されてきているのか。 (集落で補う事業ではないのか?) ③費用で、「泥上げ」の重機分は示されているが、処分費はどうなるのか。	①集落では、財源は有りません。でも、工事はしなければなりません。最悪、集落では、工事費の1割位の負担しか、財源は有りません。それ以上は、相談して、特別会計を作るより方法は有りません。 ②梶集落で、定期的に行って来ているから、少なくおさまっているのです。現に、土を上げる所がないのです。関係者は、土地改良区に行つて相談してみたが、残念なことに、当てはまらなかったそうです(内容は環境保全です)。とにかく、雨の一番多く降る7月までには、工事は終わらせたいです。 ③集落共有地2か所に穴を掘って埋める予定です。少しでも経費を削減したいです。 ・1セバックに入れて、トラックで運ぶとの話です。
	3	4月14日	吉川三大枝垂れ桜を維持管理事業	吉川三大枝垂れ桜を守る会	-	-	-	吉川区源地域の三大枝垂れ桜は、樹齢300年以上で、毎年県内外から多くの見物客が訪れている。平成27年度に実施した樹木医による診断結果に基づき、3本の枝垂れ桜のうち尾神地区の1本について、樹木医による治療を行うとともに、三大枝垂れ桜の周囲の環境整備や桜に関する講習会に参加をすることで、美しいものを愛でる夢を未来につなげていくことを目指す。	①尾神地区での枝垂れ桜のイベントの集客数の報告をお願いします。(平成26年、27年、28年度実績) ②補助希望額が区の配分額を大きく超えている現状から、補助金希望額が減額された場合に事業として実施できるのかどうかお聞きしたい。 ・参加費のアップ ・自己資金での対応 など	※平成29年5月8日付けで提案書取り下げ。
	4	4月17日	花いっぱい運動事業	吉川区青少年育成会議	-	844	840	少子高齢化が進み、地域全体に元気が薄れている中で、花の力で地域を華やかに「美しく・明るく・元気に」するため、中学生の提案及び中学生が主体となった取組みにより、「花いっぱい運動」を通じて、地域コミュニティの再生・活性化を図り、子どもたちの地域への愛着心が深まることを目指す。	①補栽に、一年草を選んだ理由は何か。 ②補助希望額が区の配分額を大きく超えている現状から、補助金希望額が減額された場合に事業として実施できるのかどうかお聞きしたい。 ・参加費のアップ ・自己資金での対応 など ③子供連といっしょに活動することは大変良いことだ。「花いっぱい運動」、具体的に、どこで、どんな風に、計画があれば聞かせてほしい。	①補栽は、一年草と多年草の2種類を補栽します。一年草はプランターに補栽します。多年草(宿根草)は道路脇及び空き地に補栽します。プランターの冬季収納場所を配慮し、単年草を選択しました。参考…単年草 650ポット 多年草 1125ポット ②当育成会議の財源は市補助金及び町内会長会や赤い羽根共同募金等を財源として充てている。今、提案事業は生徒の思いを実践させてやりたい強い思いがあるので、多少の減額でも事業を進める覚悟であります。 ③5/12(金)…生徒、育成会議関係者、PTA、教職員等と共同で、学校空き地(校門脇)・道路脇(市道木の突谷線の一部)に宿根ガザニアを補栽。 6/10(土)…親子ボランティア(中学生+保護者)行事に合わせボランティア、育成会議、教職員等で、プランター花の補栽。なお、道路脇のガザニア補栽は、尾神選足の上位入賞記念(20位)補栽者の名札を設置予定。活動場所…中学校内
	5	4月20日	上越文化会館と連携した文化活動による地域活性化事業	夢をかなえる会	-	251	101	上越文化会館の自主事業と連携し、吉川区だけではなく実現できないレベルの高い演劇公演について、観劇ツアーを実施し、バス送迎をすることにより、交通弱者、出不精と言われがちな高齢者の方々に参加しやすい環境を提供することで、地域の活性化に大きく寄与する。	①過去3年間の事業の参加人数の報告をお願いします。 ②補助希望額が区の配分額を大きく超えている現状から、補助金希望額が減額された場合に事業として実施できるのかどうかお聞きしたい。 ・参加費のアップ ・自己資金での対応 など	①2014年 演劇「淑女のロマンス」 100人 2015年 演劇「南阿佐ヶ谷の母」 90人 2016年 ミュージカル「ウエストサイド物語」 100人 ②夢をかなえる会の事業総額に対して補助をお願いする割合はとでも少なくバス代のみと限定的です。通うことなら最大限の支援をお願いしたいと思っております。しかし、状況は理解できましたので減額されたとしましても、多くの区民(参加できない人も含め)の希望に応えるべく参加費及び自己資金等を工夫し事業を実施してまいりたいと考えています。 余計な意見。 地域活性化の活動を継続してゆくには色々な工夫と努力が必要だと思います。事業の全てを補助に頼っていたのでは継続した活性化は望めないと思います。事業全体を補助でまかなう申請が結構あるのではないのでしょうか?私どもは区民全体に周知する広報費でさえ補助対象から外しています。万が一バスが利用できない事態となっても内容を変更し地域活性化の活動を継続するつもりです。過去の補助事業には住民があまり知ることなくお金が使われ、効果も知らされず継続される事もなく消えていったものがあるのではないのでしょうか。補助が減額されたり打ち切られても活性化の活動が継続できるよう指導される事を望みます。
	6	4月20日	原之町町内会手づくり道路整備と周辺の環境整備事業	原之町町内会	-	507	506	原之町町内会住民が一体となった取り組みで、美しい環境と自然を確保するために、長年放置されていた歴史ある古道(郡道)を整備し、生い茂る雑木、孟宗竹の撤去、路面の砕石整地、排水路整備などを、町内会役員を中心に共同作業で整備を行う。	①補助希望額が区の配分額を大きく超えている現状から、補助金希望額が減額された場合に事業として実施できるのかどうかお聞きしたい。 ・参加費のアップ ・自己資金での対応 など ②継続していく考えはあるか? ③目的に「住民が一体となった取り組み」とあるが、実施方法では「町内会役員を中心に共同作業」とある。住民一体の考え方はどうなのか?	①参加費のアップについて 町内の共同墓地のお参りにも繋がる大事な道路である。関係者からも早急に整備してほしい要望が出されている。高齢化社会を迎え、人口減少が進み、現在できる対策として事業を進めるものである。 ・自己資金の対応などについて 地域活動支援事業からの補助金を活用し、事業の継続を推進することを町内会で確認している。自己資金の対応は、高齢世帯並びに1人暮らし世帯が多くなり、町内会の財源も厳しい状況に直面している。予算の範囲内で事業の継続を進める。 ②長年の要望であった整備に、今回、地域活動支援事業の補助事業を活用して、事業を継続していく。この補助事業が採択されないとしても、住民の要望に沿うため、町内会で単独で整備を進める。 ③作業は、町内会委員でこの事業の取り組みについて検討計画を立案し、町内会通常総会に提案し議決を得ている。今回の整備作業は、町内会普請に併せて、年3回の作業で整備を進める。
	7	4月20日	原之町町内会伝承・伝統事業継承の活動と推進	原之町町内会	-	366	365	地域の皆さんが、改めて自分たちの地域を認識し、過去を感じていただき、歴史を再認識していただき、先人の残した功績を周知するため、町内の土蔵から発見された大量の古写真現像ガラスについて、デジタル化と展示用パネルを作成、展示会等を開催し、地元にもこのような歴史があり、誇りが持てる喜びの実現を目指す。	①補助希望額が区の配分額を大きく超えている現状から、補助金希望額が減額された場合に事業として実施できるのかどうかお聞きしたい。 ・参加費のアップ ・自己資金での対応 など	①参加費のアップについて 先般、新潟日報の記事で紹介されました。この取組みは、原之町町内会の宝である歴史ある明治末から大正はじめにかけての昔の歴史ある町並み、当時の活動の様子が写真(ガラス写真)で記録されている貴重なものである。新潟大学に約100枚程度保管されているため、今後記録を保管されていた関係者と協議を行い、継続して整備を進める。この事業について、協力したい問い合わせが多くあり、郷土の歴史について活動を推進する。 ・自己資金での対応などについて 地域活動支援事業の補助金を活用し、町内会の記録映像として保存して、吉川区の歴史について学ぶ、未来の子どもの資料に活用するための活動のため、町内会の貴重な財源の一部を活用したい。

平成29年度 地域活動支援事業提案書一覧

区名	事業番号	受付日	事業の名称	団体等の名称	補助に該当している場合	事業費(単位:千円)	補助希望額	事業内容の概要	質問事項	質問への回答
	8	4月20日	吉川民謡の定着化推進事業	吉川おどり隊	-	578	578	平成25年に、吉川観光協会でご当地民謡を新たに確立したことを機に、「吉川おどり隊」を結成。毎年区内の行事、イベント等で踊りを披露している。この盛り上がりや消すことなく、引き続き吉川民謡としての唄や踊りの定着を図るため、会員の拡大、踊りきもの購入、区内イベント等、他、東京吉川会への出演など、区外等のイベント等への出演に努め、その普及と伝承活動を更に推進する。	①去年の事業の収支は？ ②自主財源がない？事業の継続性が見えない。 ③補助希望額が区の配分額を大きく超えている現状から、補助金希望額が減額された場合に事業として実施できるのかどうかお聞きしたい。 ・参加費のアップ ・自己資金での対応 など	①提案書に記載のとおり、収入が127,000円、支出が118,000円で残金が9,000円となっています。収入のほとんどは、出演した際の謝礼で、支出は出演時のお茶代や打合せ時の茶菓子代等となっています。飲食する場合は、会費を兼ね、身支度に係る経費等も一切個人持ちとしています。 ②自主財源が何もない中、平成25年におどり隊結成以来皆で協力し合いながら事業を継続してきてきました。吉川民謡が区民の財産になればという皆の想いと、かつて補助をいただいたという想いで今後も頑張ろうと皆で話し合い、少しずつでも仲間を増やし、子供達や男性の皆さんにも覚えてもらう努力を重ねています。 ③「おどり隊に入りませんか、参加費はいくらです。」趣味の踊りグループと違うためこうした参加費の徴収は考えていません。①で回答のとおり自己資金での対応も難しいですが、わずかなら今の会員でカンパし合うことも検討しますが、皆で頑張ろうという意欲がなくなってしまうかも知れません。
	9	4月20日	上越市長杯・新潟県知事杯パラグライダー大会賑わい創出事業	尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会	-	1,060	1,000	尾神岳周辺で年4回開催されているパラグライダー大会の内、上越市長杯と新潟県知事杯のパラグライダー大会を盛り上げるとともに、賑わいを創出するため、オープニングセレモニー、大会の実況解説等の実施、記録映像の撮影、お楽しみ広場の開設、PR等を実施する。	①大会の運営実績、過去3年間の集客数は？ ②補助希望額が区の配分額を大きく超えている現状から、補助金希望額が減額された場合に事業として実施できるのかどうかお聞きしたい。 ・参加費のアップ ・自己資金での対応 など ③委託費 ¥802,224の具体的な内訳について教えてください。	①両大会には、毎年北海道から沖縄まで全国から約70~80名の選手が参加しています。県内選手が4~5名と少ないのは公式大会としての技術レベルの課題があるように聞いています。かつては、多くの観客で賑わった大会でしたが空中で競う競技であり、競技内容が分からないため声援にも力が入らず、だんだん集客力が弱くなり毎回60~70名程度となっています。こうした中、昨年の県知事杯大会では本事業の支援を受けた事業を実施した結果、子供達の集客にもつながり2日間で約250名の集客成果がありました。 ②大会参加費は1人13,000円となっており、大会実行委員会が行う大会に要する経費であり、その外に旅費等をかけて集まってくる選手に更なる負担を求めることは難しいと考えています。本提案は、大会の賑わいを創出し地域の活性化に資する事業を行うものであり、補助対象事業費(1,060千円)以外に自己資金対応経費(観客用シャトルバス運行経費や来賓の食事代等)を相当見込んでいます。吉川区の選択方針に基づき補助金希望額を1,000千円として提案しているところであり、事業内容を見直さない限り多くの減額(5%以上)による自己資金での対応は困難であると考えています。 ③大会の実況や解説を専門スタッフにお願いし、観戦者等にアピールするとともに、大会の映像を撮り、JCVや各局テレビ等のバック映像への活用を推進して行きます。また、集客を回り賑わいを創出するためのお楽しみ広場として物産販売や飲食ブースを設けたり、バイシクルモトクロスやエアージャンピングを山頂広場で展開するための委託費となっています。
	10	4月21日	長峰城址保存活用事業	越後長峰城址保存会	-	878	868	長峰城本丸遺構の特色部分の樹木伐採を行い、施設の「見える化」により城の成り立ち等が具体的に理解できるようにする。また、長峰城普及パネルの作成・展示、啓発資料の作成、見学会の開催、さらに、群馬県大胡城や長岡城関係団体との相互交流を進め、イベント等を通じて魅力度アップを図る。	①去年に続き、地域活動支援事業である。独立性が見えない。 ②自主財源をどう考えているのか。 ③補助希望額が区の配分額を大きく超えている現状から、補助金希望額が減額された場合に事業として実施できるのかどうかお聞きしたい。 ・参加費のアップ ・自己資金での対応 など	①長峰城址関係では4回目の提案になります。江戸時代の城跡としては上越市では高田城と長峰城しか遺構として残っており、極めて貴重なものです。文化財保護、活用の事業は継続的、永続的な取り組みが必要だと考えております。今回は、景観整備、交流事業、見学会のほか、普及パネルの設置や作品募集、美化・魅力向上事業にも取り組む計画です。 ②保存会の財源は会費のみで、昨年度からの繰越金も少なく、しかも維持管理経費に充てる予定ですので、自主財源としては現状では微々たるものです。 ③昨年度からの100%補助の見込みで事業計画を作成し、保存会にもその旨を報告し了解を得ております。自己負担額によっては事業ができなくなる場合もあり、苦慮しています。見学会参加費、作品募集の際の参加費徴収が考えられますが、いずれも少額ですし、自己資金も少ないのが保存会の実情です。
	11	4月21日	入河沢城を中心とした歴史と里山文化のまちづくり事業	上吉川歴史と里山文化のまちづくり研究会	-	727	720	室町から南北朝時代に築かれたと思われる「入河沢城」は、里山資源の利用のため、昭和40年代まで整備され続け、子どもたちの遊び場、環境教育の場となっていた。しかし、今では「入河沢城」は完全に忘れ去られ、同時に里山は荒れ果て、踏み入ることも困難な状態になっている。 貴重な歴史遺産「入河沢城」を整備・保存、同時に後世に継承するため、歴史の掘り起こしと、子どもたちに環境教育を実施し、地域再生のモデルとしたい。	①次年度以降の財源確保をどのようにするのか。計画は？ ②補助希望額が区の配分額を大きく超えている現状から、補助金希望額が減額された場合に事業として実施できるのかどうかお聞きしたい。 ・参加費のアップ ・自己資金での対応 など	①歴史と里山文化のまちづくりのテーマと平成29年度の事業計画案からすれば、平成30年度の活動は、入河沢城と同様に忘れ去られて久しい川谷城、尾神城、半入沢城、泉城、若しくは天林寺の古城の何れかの整備と歴史調査等を手掛けるのが筋だとは思いますが、今のところ地元の人々との連携がまだできていません。機会を通じて研究会への加入と里山文化のまちづくり事業の気運を醸成したいと考えています。平成30年度につきましては、上越市歴史建造物等支援事業補助金を活用し、国登録有形文化財を中心に地元の高齢者や見学者が気軽に交流できる地域コミュニティづくりを検討しています。 ②自己資金はありません。会員の会費を上げてまで対応することは不可能です。入河沢城の整備、地域の歴史調査・史料編纂、里山文化と地域創生学習会は3点セットでこの事業の意味がでるものです。せいぜい入河沢城の整備に伴う看板等の質を落とす程度になるものかと思えます。
	12	4月21日	吉川酒づくり伝説歴史訪事業	まちづくり吉川	-	550	450	吉川市の先人が築き上げた酒文化の歴史を継続するとともに、酒にまつわる「吉川の酒伝説」を区内外に知らしめるために、歴史本の作成及び現地周辺の整備を実施し、併せて吉川酒づくり伝説歴史訪ツアーを実施する。	①補助希望額が区の配分額を大きく超えている現状から、補助金希望額が減額された場合に事業として実施できるのかどうかお聞きしたい。 ・参加費のアップ ・自己資金での対応 など	①自己資金で対応します。
	13	4月21日	鼓舞祭太鼓購入支援事業	鼓舞祭	-	836	826	太鼓演奏団体の鼓舞祭は、参加人数不足のため、公演を断る時がある。太鼓の大きさ、音色等、種類を増やすことで、少数でも従来と同じ演奏が可能となることから、新たに太鼓を導入し、多くの公演参加に対応できるようにする。	①補助希望額が区の配分額を大きく超えている現状から、補助金希望額が減額された場合に事業として実施できるのかどうかお聞きしたい。 ・参加費のアップ ・自己資金での対応 など ②現在、太鼓はどの様な種類が、どの位あるか教えてください。	①年間の活動による収入が、12万円~16万円位見込まれる。その収入の中から、自己資金を割り当て、対応したいと考える。 ②補助太鼓 2尺・牛革・伏せ打用 10kg 1台 補助太鼓 1.8尺・牛革・伏せ打・担ぎ打兼用 9.3kg 2台 担ぎ補助太鼓 1.4尺・牛革・担ぎ打用 4.5kg 8台 担ぎ補助太鼓 1.2尺・牛革・担ぎ打用 3.8kg 5台
	14	4月21日	げんき市場活性化推進事業	吉川げんき市出店会	-	1,110	1,000	頸北地区唯一の道の駅「よしかわ社氏の郷」は、吉川市の情報発信基地として、又、賑わいのできる場所として知られている。しかしながら、せっかく設けられている食品販売等のブースなどが、充分活用されていないなど、課題が多くみられる。この課題を解決するため、ブースの利用促進を図り、イベント等を開催し活性化に努める。	①補助希望額が区の配分額を大きく超えている現状から、補助金希望額が減額された場合に事業として実施できるのかどうかお聞きしたい。 ・参加費のアップ ・自己資金での対応 など ②構成員数について、平成29年4月設立とのことですが、どのような方々でしょうか。 ③工事は正面ではなく、裏面の工事で、冬期利用促進とありますが、4ブースの今後の利用、営業計画を教えてください。	①当会は、発足したばかりでまだ自己資金を有していません。本事業を実施するにあたり自己資金が110,800円(吉川市の採択方針で補助額上限が1,000,000円となっているため。)必要であり出店者等からの協力金を見込んでいます。正直なところ、補助金が大きく減った場合は困難であり、なるべく少ない減額(3%程度)を望んでいます。 ②提案書に添付した会則と会員名簿のとおりですが、これまで道の駅に保ってこられた方々やブースの所有者、利用者に加え会の主旨に賛同していただいた15名で当面組織しています。 ③正面側は、合併前の吉川町が作ったもので現在は上越市の物となっているため、リニューアル等は上越市にお願いをしかないとされています。正面側を直す要望をする為にも、提案した事業を実施させていただき、ブースはもとより道の駅全体の賑わいを創出し活性化を図る必要があると考えています。現状では、風雨の日や冬期間は非常に寒く、ブースや廊下通りの利用が難しく、これまで同様出店者等の撤退をまねがれない状況となっています。本事業を契機に、区内の関係者等との協議を進めながらブースや空地等の利用促進を図り、道の駅周辺施設との相乗効果を高めながら吉川市のPRにつなげていきたいと考えています。なお、今現在では利用・営業計画は定まっていますが、事業採択後早急に協議を開始し決めていく予定であります。
			配分額(単位:千円)	5,700	差引	△1,954	8,145	7,654		



上越市長 村山秀幸様

平成29年5月8日

吉川三大枝垂れ桜を守る会

代表 山越英隆



地域活動支援事業取り下げ依頼書

先般4月14日申請いたしました地域活動支援事業を下記に記す理由により取り下げお願い申し上げます。

今回地域活動支援事業に多数応募があり、募集額をはるかに超える金額とのことから、補助金の額が少なく高額負担になる可能性があります。

自己資金の少ない当団体では資金の確保が難しく樹木医による事業を行うことができません。

今後の課題として、資金の確保をどのように行っていけばよいか検討していきたいと思っております。

* 尚桜の周囲の環境整備は引き続き行っていきます。

以上



吉川区総合事務所
事務・地域振興グループ

「長峰城ものがたり」パンフレット古文書資料の説明

パンフレット紙面の都合により古文書資料等の説明を省略しましたので、あらためて掲載意図や古文書内容等について簡単な説明をさせていただきます。パンフレットと合わせてお読みください。

① 牧野氏（長峰藩）家譜

『寛政重修諸家譜卷第三百六十四』所収の忠成の出自、功績等をまとめた記録です。

それによると、忠成は天正九年（一五八一）に愛知県牛窪に生まれ、二代將軍秀忠から一字を与えられ、忠成と称しました。慶長九年（一六〇四）には父康成に代わり大胡城主となり、同十年（一六〇五）四月には駿河守（するがのかみ）に叙任とあり、掲載部分は元和元年（一六一五）以降の記録です。

なお、忠成は、承応三年（一六五四）十二月、七十四歳で没しました。

② 元和二年九月 牧野忠成町田山林伐採禁止定

町田村肝煎にあてた忠成花押入りの掟書状です。町田山は代々、国・藩用の用材等として固く乱伐を禁止されてきました。長峰に着任早々の忠成の仕事が町田山林保護の踏襲でした。この書状発見により牧野家臣団の長峰城着任が決定的となりました。長峰時代の忠成花押入り文書は②一件のみですが、上越市指定文化財として上越市総合博物館で大切に保管されています。

③ 元和二年九月（ママ）月三日 山本四郎兵衛外連署願法寺林安堵並伐採禁止通達（表題は『吉川町史』から）

願法寺林観音山も寺領として領有権を承認したものです。

山本四郎兵衛、池田小左衛門コンビによる文書は吉川区内では③④⑦の三件確認されています。

④ 元和二年十一月二〇日 原之町吉田・下町右近宛、上堰堰免安堵、山本四郎兵衛、池田小左衛門書付

上堰は現在の岩堰です。家臣の山本・池田コンビによる岩堰堰免の書付で、上堰は年々修繕普請等経費がかかるので、従前同様に堰免を認めるという内容です（堰免等については⑦参照）。

⑤ 元和二年十二月 合生寺領安堵状

『刈羽郡旧蹟志』には、合生寺寺領の安堵状が載っています。前述の山本・池田コンビが今泉竹右衛門の指示を仰いだこの文書にも「駿河守」とあり、刈羽郡にも忠成の支配地があったことが証明されます。『柏崎市史』によれば、山本幸一氏は、「竹右衛門の名は元和四年以降の数十年間、長岡藩領全城の村々割附状に見えることから、徴租体系の最高責任者たる勘定奉行かと思われ、小左衛門は郡奉行・代官クラスと考えられる」（『柏崎刈羽6』）と推測

しています。

一方、『吉川町史』は、「山本四郎兵衛は家老であることは間違いない。池田小左衛門はこの地位から奉行職くらいであろう」としています。

⑥ 牧野氏（与板藩）家譜

忠成次男の康成は元和三年に長峰に生まれたとあり、家臣団とともに忠成の妻も長峰に来ていたことがわかります。『寛政重修諸家譜巻第三百六十五』所収資料です。

⑦ 元和四年七月 下町坂口宛て、山本四郎兵衛外連番苗字帯刀御免通達

忠成は元和四年（一一八一）四月には長岡へ転封となりましたが、同七月二日、下町の坂口に対して堀免を認め褒美を与えました。

坂口が、岩堰の開発・運営に尽力して来たこと、およびそれに対して堀免つまり堀経営のための無税地が与えられていたことを申し出た。それに対して牧野氏が功績を賞して吉光銘刀二腰を与え、永く苗字帯刀を許したものです。「此むね御意二候」と記して藩主の意向であることを示し、牧野藩がここに腰を据えて領地経営をする姿勢であったことが分かります（『吉川町史』から引用）。

『吉川町史』の編纂過程での②③④⑦古文書資料の発見により、牧野藩の長峰入部と施政が実証されることとなりました。

⑧ 元和四年八月 鹽城郡梶村年貢庭帳

「年貢は、年貢免状と呼ばれる文書で村ごとに通達され、村はこれに基づいて年貢を納めるわけであるが、年貢庭帳はその納入の状況を記録したものの（『新潟県史』）で、この梶村年貢庭帳は元和四年八月二十四日から十二月七日までの十回の貢納記録です。

梶村年貢庭帳十二月七日分の末尾には、「右（年貢）之外」として、為河損（するがのかみ 駿河守）支配中の午ノ年（元和四年）の春（長岡城へ異動する四月以前）に貸し付けた種粃分を、利息とともに完済したとの記録があります。

なお、種貸制度は後の高田藩財政困窮時代には、「利率は定四割という高利の強制貸付」（『吉川町史』）になりました。

⑨ 万治二年二月 国田八木家、代々の業績を述べ高五〇石の御書出を願ひ出る

万治二年（一六五九）、八木家当主平左衛門が、「代々の領主の下での功績と待遇を誇示し、さらに高五〇石の開墾地を知行地として与えられることを望んだ」（『吉川町史』）ものです。その五項目に、駿河守（忠成）長岡転封の際に二〇〇石と馬五匹を条件にお供を命じられたが、下美守組頭を勤めていたので当地に残ることとし、お供をお断りしたとあります。

『新潟県史』『吉川町史』『長岡市史』『柏崎市史』等を参考にするとともに、一部について引用させていただきます。書名には『』をつけてあります。



3

入河沢城は、上杉謙信の家臣吉井喜四郎（小四郎）が在城していたという言い伝えがある。天正6年(1578)の御館の乱の際、景虎に味方をしたため、景勝軍に攻められて落城したという。ところが、謙信の家臣に吉井という武将はいない。(出典：吉川町史の入河沢城跡)

天明年間の「天林寺村明細帳」に「古城跡(※この古城跡は天林寺地内の跡塚と呼称される古城跡のこと)・・・是は春日山上杉景勝公御代、吉井喜四郎様古城之由申伝候」と記されている。(出典：吉川町史の天林寺村の形成)

どうも入河沢城と天林寺の古城とが錯綜しているようであります。

入河沢には、入河沢城館跡、入河沢石塔群、入河沢東石塔群の埋蔵文化財の指定があります。近接集落の東田中にも光善寺跡、福平には二塚1号塚、2号塚、鍛冶山塚、縄文時代の福平遺跡があります。これらの遺跡のことはほとんど知られていません。

「歴史を学ぶことは、今を知ることである。歴史を知るとは、自分を知ることである。」や「ふるきをたずねて新しきを知る。」とされています。これは、歴史文化にふれることにより、見えなくなったり忘れがちになったりする愛や感謝、喜びや楽しみ、精神的豊かさを得ることであると思います。

吉川区の歴史文化

4

歴史に満ちあふれた吉川区

吉川区の山城(新潟県埋蔵文化財から)

- ・ 尾神城・・・不明
- ・ 半入沢城・・・中世
- ・ 国田城・・・室町～南北朝
- ・ 入河沢城・・・室町～南北朝
- ・ 顕法寺城・・・南北朝
- ・ 六角城・・・南北朝
- ・ 泉城・・・室町
- ・ 町田城・・・鎌倉～安土
- ・ 長峰城・・・江戸


吉川区の中世城館等(吉川町史から)

- ・ 川谷城・・・不明
- ・ 天林寺の古城

吉川区の社寺跡(新潟県埋蔵文化財から)

- ・ 山直海 京徳寺跡・・・江戸
- ・ 国田 ジョウハン寺跡・・・江戸
- ・ 東田中 光善寺跡・・・安土～江戸
- ・ 道之下 普門寺跡・・・中世
- ・ 顕法寺・・・不明
- ・ 中谷内寺跡・・・江戸
- ・ 平等寺 伝阿弥陀堂跡・・・鎌倉～室町
- ・ 東寺 伝東寺跡・・・鎌倉～安土
- ・ 下小沢 伝水尻の寺院跡・・・室町～江戸
- ・ 天林寺 伝覚衛寺跡・・・鎌倉～安土
- ・ 土尻 伝光明寺跡・・・鎌倉～室町
- ・ 土尻 伝法光寺跡・・・鎌倉～室町
- ・ 泉 堂上寺跡・・・不明
- ・ 大乘寺跡・・・室町
- ・ 六万部 伝みどぶがへり寺跡・・・中世
- ・ 町田 伝浄福寺跡・・・中世
- ・ 西野島 性明寺跡・・・中世

5



入河沢城は、地元では城山と呼び、数百年に亘り建材、燃料、家具什器材、屋根材、食料、肥料・飼料を供給する里山で、生活になくてはならないものでした。

しかし、昭和30年代の燃料革命と木材輸入完全自由化により城山をはじめとする里山はかえりみられることなく、踏み入ることができないほどに荒廃してしまいました。

里山の荒廃や放棄耕作地の増加によりイノシシ・タヌキ等の野生動物による農作物に被害が多く発生し、社会問題化しています。

昨今漸く環境保全や地球温暖化問題の意識の芽生えがでてまいりましたが、里山は忘れ去られたままです。

6

【歴史と里山文化のまちづくり事業】

- ① 入河沢城及び遊歩道の整備
地元民からも忘れ去られた城山を復活するために遊歩道と入河沢城を整備します。主郭、曲輪、虎口(こぐち)、堀切、土塁等の説明板を設置します。
- ② 地域の歴史調査、史料編纂
吉川区には、中世の山城や社寺跡など他に類を見ない遺跡が残っています。しかし、歴史資料については、江戸期以降のものもわずしか残されておらずほとんど不明の状態です。家や蔵の解体等により、多くの古文書が廃棄されたものと思われます。吉川町史編纂時に資料提供を呼び掛け、それなりの成果はあったものと思いますが、明治・大正・昭和も過去の時代になってしまいました。明治から昭和の時代の資料も記録に残すべきものは、今残さなければ永遠に失われてしまいます。もう一度古い資料を調べ記録として残したいと思います。今我々に課された使命ではないかと思えます。
- ③ 歴史講座の開催
現地説明会を開催します。
入河沢城を含め吉川区には10の山城と1つの平山城である長峰城があります。山城のもつ歴史背景、山城の目的、住民との関わり合いなど、山城に関わる歴史講座を開催します。

7

【歴史と里山文化のまちづくり事業】

④ 里山文化と環境教育

昭和30年代の燃料革命等(電気釜、ガスコンロ、石油ストーブ、風呂用灯油ボイラー等の開発による)と木材輸入完全自由化により里山の利用は不要となり、今では無用の長物となってしまいました。

踏み入ることもままならない状態の里山、かつては、燃料、建材や屋根材、家具材や什器材、食料、肥料や飼料を得るため、里山は生活していく上で絶対になくなくてはならないものでした。

食べ物ばかりが思い起こされますが、笹団子、ヨモギ餅、ホウノ葉おこわ、ゼンマイの煮しめ・雑煮、ワラビのお浸し、ウドの胡麻和え、カタクリのお浸し・和え物、木の芽、タラの芽の天ぷら等々。

木の材質により使え分けた各種道具類、里山文化と言えるものであったと思います。

今の里山は、ゼンマイ、ワラビ、ウド、タラの芽をとるぐらいでしょうか。これらの山菜も若い人たちは見向きもしない時代になったのかもしれない。

木の利用もシイタケの椀木を切るぐらいでしょうか。いや、自宅でシイタケやなめこ栽培をしたい人は、ホームセンターで駒入れの椀木を買う人が多いかもしれません。

いや、若い奥様方は、ショッピングセンターの乾燥シイタケや生シイタケを買う人がほとんどかもしれません。

里山の恵み、現代社会では不必要なものでしょうか。

8

新潟県は農業県ですが、森林資源も決して無視できないものです。新潟県の森林面積は、全国7番目の791,000ha、県の面積の62.9%を占めます。これだけの資源のほとんどが利用されず、荒れたままです。

14階ビルもできるという直交集成板CLI、不燃木材、防腐・防虫・燃えない・狂わない・割れないという強靱化木材、鉄の5分の1の重さで5倍の強度があるというセルロースナノファイバー、バイオエネルギーなど木材の新しい利用方法が研究開発されています。

吉川区は過疎化が進み、限界集落、危機的集落(9軒以下)、超限界集落(5軒以下)、廃村集落(残り1軒)と言った言葉が囁かれています。

農業と林業を兼ね合わせた地域再生も必要ではないかと思われます。NPO法人自伐型林業推進協会によると、島根県津和野町など約30の自治体が自伐型林業を支援し、山の再生や移住者増加を目指す動きが出てきているといいます。当然、地域おこし協力隊の力を借りているところが多いようです。

忘れられた山城、その原因は里山文化の喪失からです。

豊かな自然環境を守り、私たちの子孫に引き継いでいくために、エネルギーの効率的な利用など環境への負荷が少なく持続可能な社会を構築することが大切という環境教育と限界集落等における里山を活用する地域創生の方法を考える学習会を開催します。

それは、木材の新しい利用の研究開発の流れに乗ることになり、地域の活性化や雇用の創出など地域創生につながるものと考えています。